

修道中学校・修道高等学校 インターアクトクラブ

2023年度（2023年6月～2024年5月）活動報告書

顧問教師	2023年 筆頭参与 谷本理紗 参与 恵島 聖 2024年 筆頭参与 谷本理紗 参与 栗本 潤 恵島 聖
構成員	2024年度 会長(班長)武本 航来 副会長(副班長)末森 大雅 山本 凌也 中学・高校 計32名

1. 昨年度の活動内容

昨年度は平和学習やハワイとの交流をはじめ、他校の皆様との交流や学び合いの機会を多くいただきました。まだまだ努力しなければならない点もありますが、多くの経験を通して、自分たちの視野が大きく広がったと思います。たくさんの奉仕活動に参加したことで、少しでも僕たちの行動が、社会をよくすることに繋がってほしいと願っています。

2. 成果と今後の課題

県外や海外の高校生との交流も増え、広島に関する様々な知識、そして経験が必要だと感じました。日々の授業の学びも大切だと感じています。昨年度の経験をしっかりと力に変え、より深い交流につなげていきたいです。

3. 活動の具体的な内容・感想

【地区大会】

異文化交流がテーマで行われた本大会では、他校の皆さん、留学生の皆さんと交流しました。特に留学生の方々からのお話を聞いて、今の日本の当たり前は、決して世界の当たり前ではない、ということに気付かされました。1日を通して、「様々なバックグラウンドを持つ人々が住みやすい町作り」とはどういった環境なのか、考えるきっかけとなりました。



【指導者研修会】

久しぶりに中高それぞれ多くの生徒が参加させていただき、班員の絆も深まりました。1日目の秋吉台吉台、秋芳洞の見学では長い年月をかけて創り上がった自然の素晴らしさを体験することができました。2日目の講演ではエコツーリズムを学び、自然保護と観光を両立する難しさも実感しました。観光を新たな視点で学び、貴重な経験となりました。



【文化祭 チャリティーバザー&募金】

ロータリークラブの皆様のご協力で、文化祭でのチャリティーバザーを今年も実施することが出来ました。募金活動にも多くの方にご協力いただき、2日間大盛況でした。文化祭で集まった募金は、能登半島地震の被災地支援のため「日本赤十字社」へ、そして街頭募金にも参加している「あしなが育英会」にお送りしました。継続的な支援が大切であると考えているので、新年度も積極的に取り組みます。

【清掃活動】

河原清掃に加え、本年度は「スポ GOMI」というゴミ拾いの大会にも参加し、きれいなまちづくりに貢献しました。病院での車椅子清掃は、インフルエンザの大流行もあり、本年度活動が思うようにできませんでした。来年度、しっかりと貢献します。最近では地域の人々の関心も高くなり、捨てられているゴミの量も減ってきています。綺麗な河原を目指し、これからも積極的に活動したいです。



【平和学習・国際交流】

◆第 2590 地区 第 2710 地区 インターアクト平和学習会 in 広島

事前に広大附属さんと平和公園で碑めぐりにも参加し、準備を進めました。今回は僕たちが他県の人たちに平和について教えるということで、少し緊張していました。まず始めに VR 体験ではその当時の状況がリアルに再現されていて、町の悲惨さにとても驚きました。次に、被爆体験講話では被爆した方の話を詳しく聞けて、当時身内の居場所もわからず、食事もまともにとれなくて、とても大変だったことが伝わりました。最後に他県の高校生と交流して、原爆や戦争について意見を出しあったことで平和の大切さをお互いに感じました。また、他見の高校生に平和や原爆について理解してもらえてとても嬉しかったです。これからも他県の人たちとの交流があった際には原爆ドームや戦争について共有できたらいいと思います。



◆核兵器廃絶のための署名活動

昨年 8 月に女学院高校の方々と署名活動を行いました。炎天下の日差しの中、修道魂を見せ、声を張り上げて呼びかけを行いました。核なき世界の達成のために粘り強く呼びかけを行った結果、署名をしてくださった方々の協力により、数多くの核廃絶のための署名を集めることが出来ました。道のりは簡単なものではないと思いますが、核がなくなり、平和が訪れ、争いごとがなくなる世界のための第一歩の活動をできたと思います。



◆ワイアケア高校との交流会

3月23日(土)ワイアケ高校から2名の留学生を招き、修道で交流会をしました。広島市内の平和公園を案内した後、高校でお好み焼きを作ったり、出し物をしたりしました。お好み焼きづくりでは広島の歴史と文化を交えながら英語で協力して作り、交流を深めました。出し物では日本についてのクイズやダンスを披露し、言語の壁を乗り越えたダンスでの心と心のつながりに感動を覚えました。お別れ会では英語でフリートークをしてさらに仲を深めました。帰国された後も、オンライン交流を通して絆を深めています。



僕たち海外交流を通して学んだことは、英語があまり得意でなくても心と心がつながることでコミュニケーションができるということです。これからも間違いを恐れず、積極的に国際交流をしていきたいです。

【第4回 SB Student Ambassador】

班員4名が、広島大学と東京国際フォーラムで実施されたSDGsに関する高校生の研修大会に参加しました。今年度は地方予選での論文「牡蠣ガチャで世界の海を救え！」が入賞し、東京での国際会議への参加をさせていただきました。これまで、清掃活動などを通して環境や社会課題と向き合ってきましたが、国際会議への参加で、より行動することの大切さに気付かされました。



【こども食堂でのボランティア】

己斐西集会所で行っている子ども食堂で手伝いをしています。主な活動としては、配膳や子供たちの世話をしたりすることが主です。今年度は特に、子供たちが主体的に行動し、自立できるよう、そのサポートをすることができました。とてもやりがいのあるボランティア活動なので、これからも継続していきたいです。



【あしなが学生募金ボランティア】

4月20日にあしなが学生募金に参加しました。街頭で街行く人たちに、様々な理由で親を亡くした子どもたちの苦しい状況を伝え、声をしっかり出して募金を呼びかけました。今回、活動に参加して、募金を呼びかける立場にしか分からない難しさに直面したり、その一方で募金をしてくださる方の温かい声を肌で感じる事ができて、考えることの多い機会を得ることができました。



4. 新年度に向けた抱負

昨年度は多くの高校生と出会い、多くの刺激を受けました。また、先輩方が国際会議に出席されるなど、日々の活動が将来の夢や目標に繋がっていきました。新しい活動もちろんですが、継続している活動も、新しい視点や工夫ができるよう、新しい形で取り組んでいけたらと思います。

新年度は特に、国際交流が盛りだくさんとなっています。貴重な機会ですので、相手の国のことをよく知り、交流を通して視野を広げられるよう努力します。また、この1年で、活動の幅も広がり、仲間もたくさん増えました。主体的にやってみたいことに挑戦し、リサーチしてきたことも大きな成長だったと思います。それを新年度も続け、班活動として飛躍の年にしたいと思います。

さらに学校の中でも、応援してくれる仲間や先生方が増えてきました。新たに文房具のリサイクル事業に取り組む予定ですが、これからそういった学校全体で取り組めるボランティアや環境への取り組みにも挑戦していきたいです。

